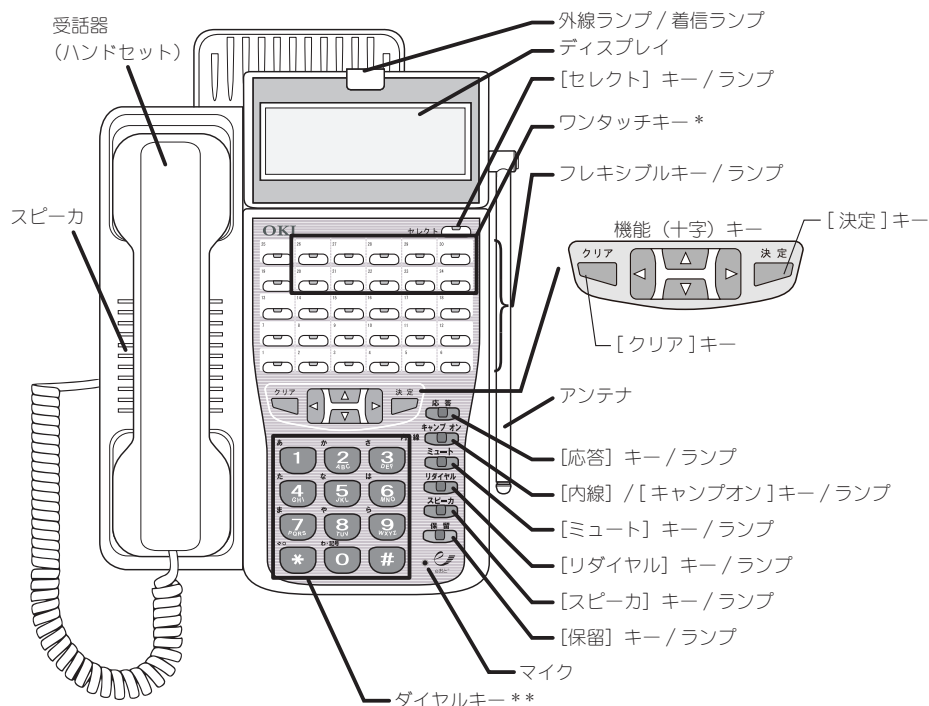


マルチ・キーテレホン IP ワイヤレス 簡易操作マニュアル

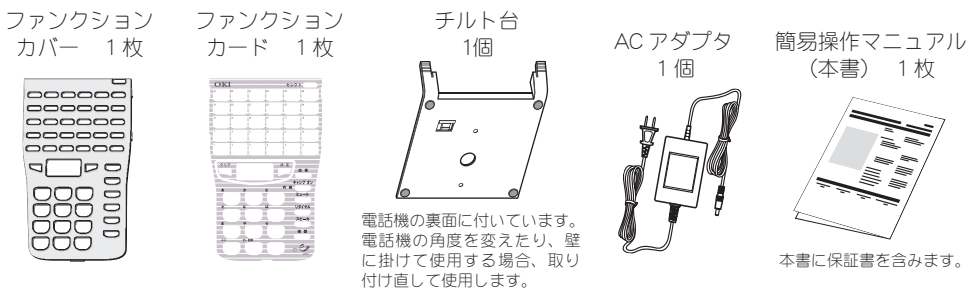
OKI

各部の名称



* ワンタッチキーは、フレキシブルキーの一部を変更登録して使用できます。
** ダイヤルキーの斜め上に記載されている「あ」「か」などの小さな文字は、ダイヤルキーで文字を入力するときに、各キーに割り当てられている文字（「あ行」「か行」…）を表しています。

添付品



※本装置は IPstage、SS9100、DISCOVERY01 等の主装置システムに接続して使用することができます。
※各機能詳細、および本書に記載されている以外の機能については、主装置の操作説明書を参照してください。

仕様

項目	仕様
ネットワークインタフェース	IEEE 802.11b/g
給電方式	・ACアダプタによるローカル給電 (DC 12V、1.0W以下) 使用電源: AC 100V (50Hz / 60Hz)
設置形態	卓上 / 壁掛け
環境条件	使用時 温度: 0 ~ +40 (°C) 湿度: 20 ~ 85 (%RH)
	保存時 温度: -20 ~ +60 (°C) 湿度: 10 ~ 90 (%RH)
寸法	約 200mm (幅) × 274mm (奥行) × 102mm (高さ)
質量	約 1kg 以下

お問合せになる前に

症状	原因と対処
ディスプレイに何も表示されていない。	電源ケーブルの抜け、接触不良が考えられます。確認に入っているかを確認ください。
受話器から「ツ」 という音が聞こえない。	受話器 (ハンドセット) のコールコードの抜け、接触不良が考えられます。確認に入っているかを確認ください。
こちらの声が相手に伝わらない。	ミュート状態であることが考えられます。[ミュート] キーのランプが点灯しているときは、[ミュート] キーを押して、ミュートを解除してください。
[スピーカ] キーを押したのに、スピーカから音が出ない。	電話機設定機能の「ハンドセット切替」が「ヘッドセット」に設定されていることが考えられます。「ハンドセット切替」を「ハンドセット」または「ハンズフリー」に設定してください。詳細は、主装置の操作説明書を参照してください。
ディスプレイに「SEARCHING_1」と表示されたままになる。	無線接続ができないことが考えられます。設置場所を変更することで、接続できる場合があります。

保証書

マルチ・キーテレホン IP 保証書

この製品をご使用中、取り扱いについての説明書に従った正常なご使用状態で自然故障した場合は、本保証書記載内容、および保証規定 (裏面) により 1 年間無料修理致します。

- 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、取扱店にご依頼ください。
- 本保証書にお引渡し日、お客様会社名、ご住所、取扱店名、住所が記載されているかお確かめください。万一記入がない場合は、直ちに取扱店にお申し出ください。
- 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

製品名	マルチ・キーテレホン IP	型名	MKT/IP-30DKWHFWL
製造番号			
お引渡し日	年 月 日		
保証期間	お引渡しの日より 1 年間*		
お客様	ご住所	〒	TEL
	会社名		
取扱店	ご担当部門		
	住所	〒	TEL
店名			

*お引渡し日は、新規工事、もしくは増設工事の完了の日付けとなります。

OKI 沖電気工業株式会社

安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みください

この「安全上のご注意」には、お客様への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を示しています。本装置をご使用前に、本文をよくお読みいただき、正しくご使用ください。お読みになったあとは、いつでも見られる場所に必ず保管してください。

警告 次の項目を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 「MAINT E」ポートに接続したネットワークケーブルを商用電源、アナログ電話回線、デジタル電話回線 (ISDN)、P B X デジタル電話回線には接続しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 内部の点検・修理は、取扱店に依頼してください。
- 付属、あるいは指定の AC アダプタ以外を使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの端子に金属などが触れると、火災・感電・故障の原因となります。
- タコ足配線はしないでください。火災・過熱の原因となります。
- ACアダプタのコードに重いものを載せたり、加熱したり、引っ張ったりしないでください。コードが破損し、火災・感電の原因となります。
- 近くに雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。落雷によっては、火災・感電・故障の原因となります。
- 開口部から内部に金属類を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本装置を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 本装置の上や近くに花瓶、コップ、化粧品、薬品、植木鉢など、液体の入った容器または、小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。
- 濡れた手で、電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となる場合があります。
- 万一、内部に水などが入った場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、取扱店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
- 煙が出ている、異臭がするなどの場合は、すぐに電源プラグを抜いて、煙が出なくなるのを確認して、取扱店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
- 万一、本装置を落として破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、取扱店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

注意 次の項目を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるような場所および、ちり、ほこりの多い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- ぐらついた台の上や、傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
- 直射日光の当たる所や、湿度の高い所には置かないでください。内部の温度が上がり、火災・故障の原因となる場合があります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷付いて火災・感電の原因となることがあります。
- お手入れの際は安全のために、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 水滴がついたら乾いた布で拭き取ってください。内部に入ると、火災・故障の原因となる場合があります。
- 本装置の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。
- 壁掛け用に取り付ける場合は、重みにより本装置が落下しないよう、専用の取付器具を使用し、指定の方法で取り付けしてください。落下すると、けがの原因となることがあります。
- 移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線ははずしたことを確認の上、行ってください。コードを引っ張るとコードが傷付き、火災・感電・故障の原因となることがあります。

ご使用にあたってのお願い

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適正な対策を講ずるよう要求されることがあります。

- 停電などの外的要因、あるいは本装置の故障、誤動作、不具合によって通信などの機会を逸したために生じた逸失利益等の金銭的損害につきましては、当社はその責任を一切負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本装置を人命や、危害に直接的または、間接的に高い安全性が必要とされる環境下では使用しないでください。
- 本装置を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。
- 本装置に登録された内容は故障・修理のときに消失する場合があります。

設置にあたって

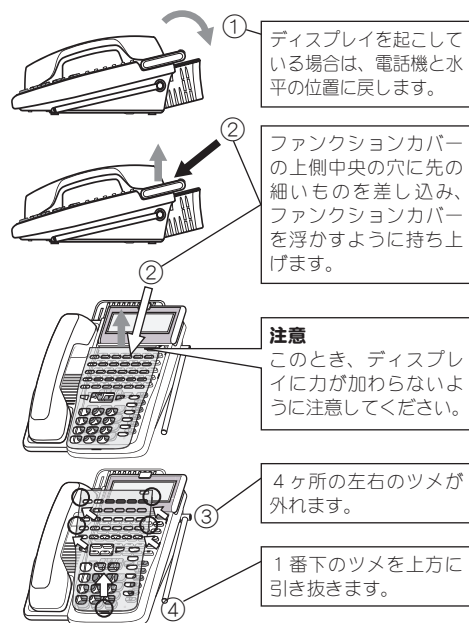
- ヘッドセットでお使いになる場合、別売のヘッドセットが必要となります。(沖電気製 DHS-HM-10-HDS を推奨)
- テレビ、ラジオ、無線機、電子レンジ、インバータ形蛍光灯などの磁気、電波が発生する場所、放送局の近くや違法無線を受ける場所に設置した場合、ノイズや誤動作を引き起こすことがあります。
- ACアダプタをテレビ、ディスプレイ等の近くに設置しないでください。画面が乱れる原因となることがあります。
- 雷の多い地域において、雷対策を実施する場合には取扱店にご相談ください。
- 本装置は無線 LAN を使用しています。電波干渉を防ぐため、電話機同士を接して設置しないでください。

取り扱い上のご注意

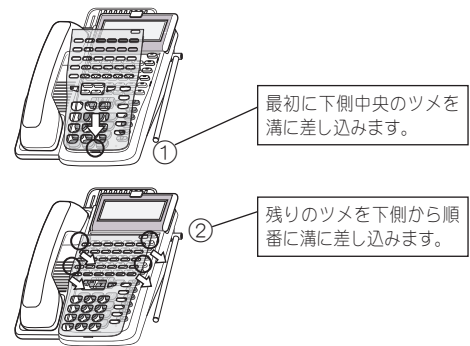
- 本装置を清掃するときは、揮発性のあるシンナーやアルコールおよびシリコン系クリーナーなどの使用は絶対にさけてください。変色、変形の原因になることがあります。水を含んだ布を軽く絞って拭いた後、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 本装置に接続されている受話器用ケーブルを強く引っ張らないでください。故障の原因となることがあります。
- 落下させるなどの強い衝撃を与えないでください。
- 本装置は、電波法における「小電力データ通信システムの無線局の無線設備」であり、無線免許は必要ありません。本製品の内部を改造することは法律で禁じられています。また、本製品は、国内の電波法により認定されたもので、海外ではご使用にできません。

電話機の調整

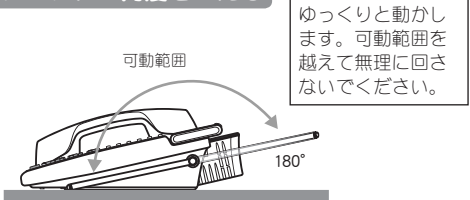
ファンクションカバーの外し方



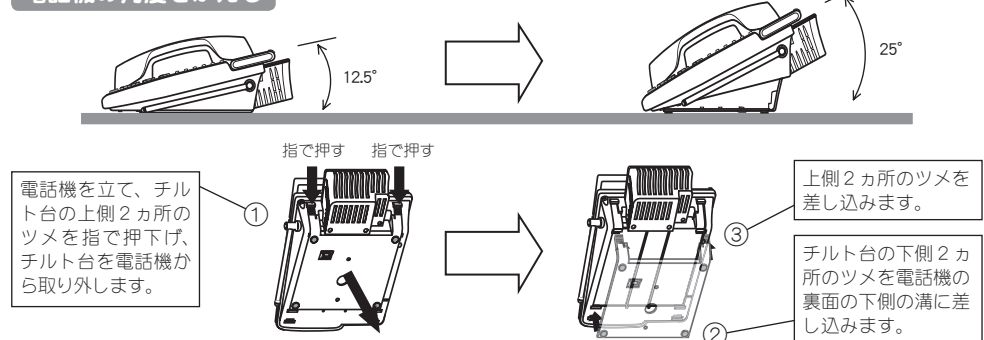
ファンクションカバーの取り付け方



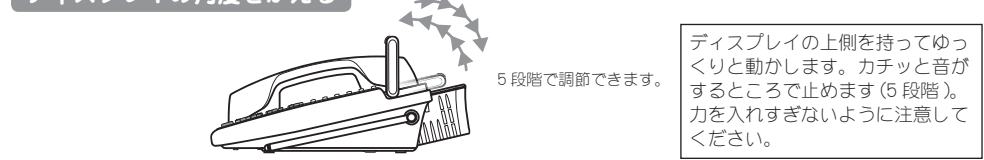
アンテナの角度をかえる



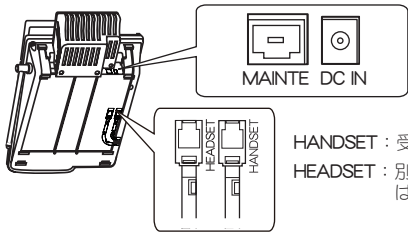
電話機の角度をかえる



ディスプレイの角度をかえる



外部入出力端子



DC IN：専用の AC アダプタを接続します。
MAINT：保守コンソールに接続します。通常は使用しないでください。

HANDSET：受話器（ハンドセット）が接続されています。
HEADSET：別売のヘッドセットを接続します。ヘッドセットを使用しない時には、何も接続しないでください。

着信音量を調節する

電話がかかってきたときに鳴る音（着信音）の大きさを調節することができます。

- 待受状態のとき、**決定** を押し、**決定** を押し、メインメニューが表示されます。
- 「音設定」を **△**・**▽** で選び、**決定** を押し、

メインメニュー
通話履歴
>音設定
サービス設定

 音設定メニューが表示されます。
- 「着信音量」を **△**・**▽** で選び、**決定** を押し、

音設定メニュー
>着信音量
受話音量
マルチライン着信音量

 着信音量を調節する画面が表示されます。
- 着信音量を調節します。
△・**▽** を押すごとに、音量が1段階ずつ変わります。(5段階)

着信音量	■■■■■
------	-------

 音量を上げる ↑ ↓ 音量を下げる

着信音量	■■■■
------	------
- 決定** を押し、着信音量が設定されます。

※ 音量は、着信音が鳴っているとき、または通話中に **△**・**▽** を押すことによっても変更できます。
 ※ 選択項目が多いメニューでは、**△**・**▽** でカーソルを移動するとメニューがスクロールし、表示されていない項目を選択できます。先頭と最後の項目はつながってスクロール表示されます。

受話音量を調節する

受話器から聞こえる音の大きさを調節することができます。

- 待受状態のとき、**決定** を押し、**決定** を押し、メインメニューが表示されます。
- 「音設定」を **△**・**▽** で選び、**決定** を押し、

メインメニュー
通話履歴
>音設定
サービス設定

 音設定メニューが表示されます。
- 「受話音量」を **△**・**▽** で選び、**決定** を押し、

音設定メニュー
着信音量
>受話音量
マルチライン着信音量

 受話音量を調節する画面が表示されます。
- 受話音量を調節します。
△・**▽** を押すごとに、音量が1段階ずつ変わります。(5段階)

受話音量	■■■■
------	------

 音量を上げる ↑ ↓ 音量を下げる

受話音量	■■■■
------	------
- 決定** を押し、受話音量が設定されます。

バックライトの色を選択する

ディスプレイのバックライトの色を、グリーンとオレンジのどちらかに設定することができます。

- 待受状態のとき、**決定** を押し、**決定** を押し、メインメニューが表示されます。
- 「サービス設定」を **△**・**▽** で選び、**決定** を押し、

メインメニュー
通話履歴
音設定
>サービス設定

 サービス設定メニューが表示されます。
- 「バックライトベース色切替」を **△**・**▽** で選び、**決定** を押し、

サービス設定メニュー
端末ID確認
ROMバージョン確認
>バックライトベース色切替

 ※メニューの下のほうの項目は、**▽** を押してカーソルを移動させると表示できます。
 バックライトベース色を選択する画面が表示されます。
- バックライトベースの色を **△**・**▽** で選び、**決定** を押し、

バックライトベース色切替
>グリーン
オレンジ

 バックライトベースの色が設定されます。

ディスプレイの濃度を調節する

ディスプレイに表示される文字を濃くしたり、薄くしたりすることができます。

- 待受状態のとき、**決定** を押し、**決定** を押し、メインメニューが表示されます。
- 「サービス設定」を **△**・**▽** で選び、**決定** を押し、

メインメニュー
通話履歴
音設定
>サービス設定

 サービス設定メニューが表示されます。
- 「LCD濃度切替」を **△**・**▽** で選び、**決定** を押し、

サービス設定メニュー
>LCD濃度切替
ヘッドセット切替
アドレス確認

 LCD濃度を調節する画面が表示されます。

バックライトタイマを調節する

ディスプレイのバックライトが点灯してから、消灯するまでの時間を変更することができます。

- 待受状態のとき、**決定** を押し、**決定** を押し、メインメニューが表示されます。
- 「サービス設定」を **△**・**▽** で選び、**決定** を押し、

メインメニュー
通話履歴
音設定
>サービス設定

 サービス設定メニューが表示されます。
- 「バックライトタイマ切替」を **△**・**▽** で選び、**決定** を押し、

サービス設定メニュー
ROMバージョン確認
バックライトベース色切替
>バックライトタイマ切替

 ※メニューの下のほうの項目は、**▽** を押してカーソルを移動させると表示できます。
 バックライトタイマを調節する画面が表示されます。
- バックライトタイマの設定値を **△**・**▽** で選び、**決定** を押し、

バックライトタイマ切替
>無操作 5秒保持
無操作 10秒保持
無操作 30秒保持

 ※メニューの下のほうの項目は、**▽** を押してカーソルを移動させると表示できます。
 バックライトタイマが選んだ値に設定されます。

- LCD濃度を調節します。
△・**▽** を押すごとに、濃度が1段階ずつ変わります。(8段階)

LCD濃度切替	■■■■■
---------	-------

 濃くする ↑ ↓ 薄くする

LCD濃度切替	■■■■
---------	------
- 決定** を押し、LCD濃度が設定されます。

※電話をかける／受ける／転送の方法は、システム設定によって、操作が異なる場合があります。

電話をかける

外線にかける

- 受話器を上げます
 - ランプが点灯していない外線キーを押します。

外線1	外線2	外線3	IC
-----	-----	-----	----

 ※使用中の外線キーのランプは赤点灯しています。使用されていない外線をご利用ください。
 ランプが緑色になります。
 - 相手の電話番号をダイヤルします
 - 相手が応答したらお話しします
- ※ 外線キーは、フレキシブルキーに割り当てられています。

内線にかける

- 受話器を上げます
 - 相手の内線番号をダイヤルします
 - 相手が応答したらお話しします
- 外線キーのかわりに **○** を押しでも外線へかけられます。
 - この他にも、リダイヤルキー、ワンタッチキー、短縮ダイヤル、電話帳から電話をかける方法があります。詳しくは、主装置の操作説明書をご覧ください。

電話を受ける

外線からの電話を受ける

- 外線着信音が鳴り、外線キーのランプが赤色で点滅します。
- 受話器を上げます
 - 点滅している外線キーを押します

外線1	外線2	外線3	IC
-----	-----	-----	----
 - 相手とお話しします
- ※フレキシブルキーの設定方法は、主装置の操作説明書をご覧ください。

内線からの電話を受ける

- 内線着信音が鳴ります。
- 受話器を上げると、相手とお話できます
- 近くの電話に内線電話がかかっている場合
- 受話器を上げます
 - 代理応答キーを押します

代理応答

 ※代理応答キーは、フレキシブルキーに割り当てられています。
 - 相手とお話しします

電話を転送する

外線を保留してから転送する

- 相手の方に待っていただくよう伝え、
例)「電話を転送しますので少しお待ちください」
- 保留** を押し、受話器を戻します
- 転送する人に声をかけます
例)「××さん。外線○番に△△さんからお電話です」
- 声をかけられた人は、受話器を上げ、○番の外線キーを押して応答します
再度電話を取る場合は、○番の外線キーを押すことで、元の相手と通話に戻れます。

ダイヤルで転送する

- 相手の方に待っていただくよう伝え、
例)「電話を転送しますので少しお待ちください」
- 内線 **○** を押し、**IC** を押し (IPstage の場合)
- 転送先の内線番号をダイヤルします
※ 転送先が応答しなかったり、話し中の場合は、内線 **○** を再度押す (IPstage) またはフックスイッチを押す (SS9100、DISCOVERY01) ことにより、元の相手との通話に戻れます。
- 転送先が応答したら、電話を転送する旨を伝え、受話器を置きます

その他の電話機の主な機能

機能名	機能概要
1 スピーカ受話音量	電話機のスピーカ音量を調節します。
2 キータッチトーン切替	キーを押した時に出る音のオン・オフができます。
3 マイク音量	ハンズフリー通話時のマイク音量を調節します。
4 送話音量	受話器（ハンドセット）のマイク音量を調節します。
5 マイeおと通話切替	「マイeおと」とオフを含めた3つのタイプから選択可能です。
6 ハンドセット切替	ハンドセット／ハンズフリー／ヘッドセットから使用形態を選択します。
7 電話帳	最大1000件まで登録できます。電話帳から名前を検索して発信することができます。
8 発信履歴／着信履歴	それぞれ20件まで保存されます。履歴から電話帳に登録することや、履歴を検索して発信することができます。20件を超えると、古い履歴から自動的に削除されます。
9 キャンプオン	内線発信時に相手が話中だった時に キャンプオン を押すことにより、相手の内線が空き次第、自動的に呼び出します。
10 ミュート	通話中に ミュート を押し、こちらの声を相手に伝わらないようにすることができます。

お問合せ窓口

本書の記述で不明な点がありましたら、主装置の操作説明書をご覧ください。本装置の運用・保守に関する疑問や質問、あるいは主装置の操作説明書の記述で不明な箇所がありましたら、本装置を購入されました取扱店までお問い合わせください。

OKI 沖電気工業株式会社



使用済み製品を廃棄する場合は、廃棄物処理法に基づいた処理が必要です。廃棄・リサイクル処理についてのお問い合わせは、営業または取扱店までご連絡ください。

3PP3507-4437P002 Rev.1.0

保証規定

- 保証期間内である1年以内に正常なご使用状態で自然故障を生じた場合は、無料で修理を致します。なお、故障の内容によっては修理にかえ同等品と交換させていただくことがあります。
- 保証期間内に正常なご使用状態で自然故障を生じた場合でも、離島または離島に準じる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- 次のような場合には、保証期間内でも有料になりますのでご了承ください。出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
 - 本保証書に取扱店名、お引渡し日の記入のない場合、あるいは字句を訂正された場合。
 - お引き渡し後の移動、転落等により故障および損傷が発生した場合。(移設の場合は、事前に取扱店にご相談ください。)
 - 火災、地震、風水害、雷、その他天変地異、塩害、公害や異常電圧等による故障および損傷。
 - 使用上の誤り、当社指定サービス員以外による修理や改造による故障および損傷の場合。
 - 保証書のご提示がない場合。
 - 配管工事、設置工事などの不備による故障および損傷。
- 停電などの外的要因、あるいは本装置の故障、誤動作、不具合によって、通信などの機会を逸したために生じた逸失利益等の金銭的損害につきましては、当社はその責任を一切負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.
 この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、取扱店にお問合せください。

年 月 日	修理内容および使用部品	担当者